



医療法人伯鳳会 大阪中央病院

病院レポート

「虹」

院長ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

大阪中央病院は令和2年7月より医療法人伯鳳会グループとなり、心機一転従来にも増して皆様の健康・医療のお役に立ちに貢献していく所存です。

今年より奇数月ごとに当院の様々なホットスポット情報をお知らせして参りますので、宜しくお願い致します。



院長
根津 理一郎

医療法人伯鳳会

兵庫県赤穂市を中心に全国37カ所に事業展開しており、医療・介護・福祉・教育のサービスを地域の皆様に広く提供しています。

病院6施設では、チーム医療を実践しており、職員一人ひとりが責任を持って患者様が安心して治療を受けられるようサポートしています。

また法人内連携、グループ内連携も盛んで、災害訓練、各部署勉強会、学術研究発表会などもグループで行っております。

特集

整形外科

大阪中央病院整形外科で最先端ロボット手術を開始！

この度、人工知能(AI)による術前計画と

ロボティックアームMakoによる高度な手術体制を整備しました。



ロボティックアーム手術支援システム「Mako」

(ストライカー ホームページより)

ロボティックアーム (M a k o) とは

- ・コンピュータ制御された「機械の腕」のことで、この先進テクノロジーを使った人工関節置換術用のロボティックアームは医師が操作をして動かし、人工関節の正確な設置をサポートします。
- ・利点として人の手のようにぶれることなく、正確に動き、止まることです。人工関節置換術に使用するとナビゲーションで計画した通りに手術器具を移動することができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能になります。A I (人工知能) による正確な3次元の術前計画と、このナビゲーションシステムと併せて使用することで、治療計画通りの安全かつ正確な手術を可能にします。

当院の整形外科はこれまで膝関節疾患（スポーツ外傷や変形性膝関節症等）や股関節疾患を中心に診療を行い、年間で約 250 件の手術を行っております。

<当院の人工関節置換術の特徴>

- ① 徹底した感染症管理（バイオクリーンルームで宇宙服タイプの手術着の着用）
- ② 最小侵襲手術（M I S）と早期リハビリによる血栓予防と早期回復
- ③ 抜糸・輸血をしない工夫（術後回収式及び貯血式自己血輸血）
- ④ 術後のロボットリハビリテーション
- ⑤ 特に、膝関節ではオーダーメイドの手術器具（P I S）の使用や両膝同時手術にも対応可能で、前方進入法による「筋肉や腱を切らない」M I S手術による術後の肢位制限を低減

等がありますが、特にP I SではCTなどの 3 次元画像データを基にP C上で各人に適した手術計画を立て進めています。

この度、昨年 12 月 22 日に新たにA I ロボティックスM a k oを導入設置し、今年 1 月 21 日より本機使用による手術を開始いたします。

担当医師

坪田 次郎 医務局長 整形外科 兼 リハビリテーション科部長

藪野 瓦平 整形外科部長

（ 日本整形外科学会専門医
人工関節ロボティックス手術担当医師 ）

放射線科からのお知らせ

初めまして。伯鳳会大阪中央病院放射線科の森田です。

この度、当院では地域の先生方との連携をより密にとるための一環として放射線科でCT,MRIの御依頼を受けさせて頂くこととしました。詳細は近々にご連絡させていただきます。具体的には先生方から地域連携室へFAXで診療情報提供書を頂ければ、直ぐに予約をとり、折り返し予約票や問診票等を返信させていただきます。当日は患者様に4階放射線科へ直接来院して頂き、検査を受けられた後に直ぐにCDとレポート作成して患者様にお持ち帰り頂く予定です。ご希望が有りましたら、私から患者様にその場で画像の説明もさせていただきます。当然緊急性の高い病態や悪性疾患疑いなどは直接連絡させて頂き、有所見の取りこぼしを防ぎます。

今後も地域の先生方と共に地域医療の向上に邁進していきたいと考えております。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

医師・放射線科部長 森田 吉多佳

看護局より

看護局の理念は「共にあゆむ最善の看護」と唱っており、健診における予防から治療に至るまで、受診者様や患者様を取り巻くすべての人々と協働し、看護の力が最大限に発揮できるよう日々取り組んでいます。

当院の特徴として、平均在院日数が5日前後と短期であることから約100種類のクリニカルパスを使用しています。手術室では内視鏡手術を中心に昨年度、約3500件の手術を行いました。また昨年8月より急性期一般入院料Ⅰ：重症度、医療看護必要度Ⅱ、10月より看護職員夜間配置加算（12対1加算1）を取得しました。

今後も、患者様やご家族の気持ちに寄り添い、生活面での困りごとを相談していただけるよう、地域連携/入退院支援を充実させていきたいと思っております。

看護局長 大谷 敦子

[後記]

今回はAI ロボティックアーム導入により、さらなる充実を目指す整形外科を特集させていただきました。今後も診療科ごとのトピックスを中心にお届けして参ります。

なお、当院では医療法人伯鳳会への母体変更を機に電子カルテ導入を進めて参りましたが、この2月よりいよいよ実装開始となります。

従来以上に地域の医療機関様をはじめ、利用いただく皆様との連携を深め、貢献して参りたいと考えておりますので、今後ともご指導のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

病院レポート「虹」

2021年1月発行 Vol.1

編集・発行 医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505(代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域医療連携室

TEL 06-4795-5533(直通)

FAX 06-4795-5535(専用)



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

HAKUHOKAI Osaka Central Hospital